

# 第26期考古学セミナー（2024年度）

—やまがたの遺跡の中のカミ・ホトケ—

## 第2回講座

講義④

### 遺跡の中のカミ・ホトケ —中近世の遺跡を事例に—

(公財)山形県埋蔵文化財センター

高桑 登 氏

令和6年9月29日（日）

会場 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館研修室

20240929

第26期考古学セミナー(第2回)

# 遺跡の中のカミ・ホトケ

— 中近世の遺跡を中心に —

公益財団法人山形県埋蔵文化財センター

高桑登

# 今回紹介する遺跡

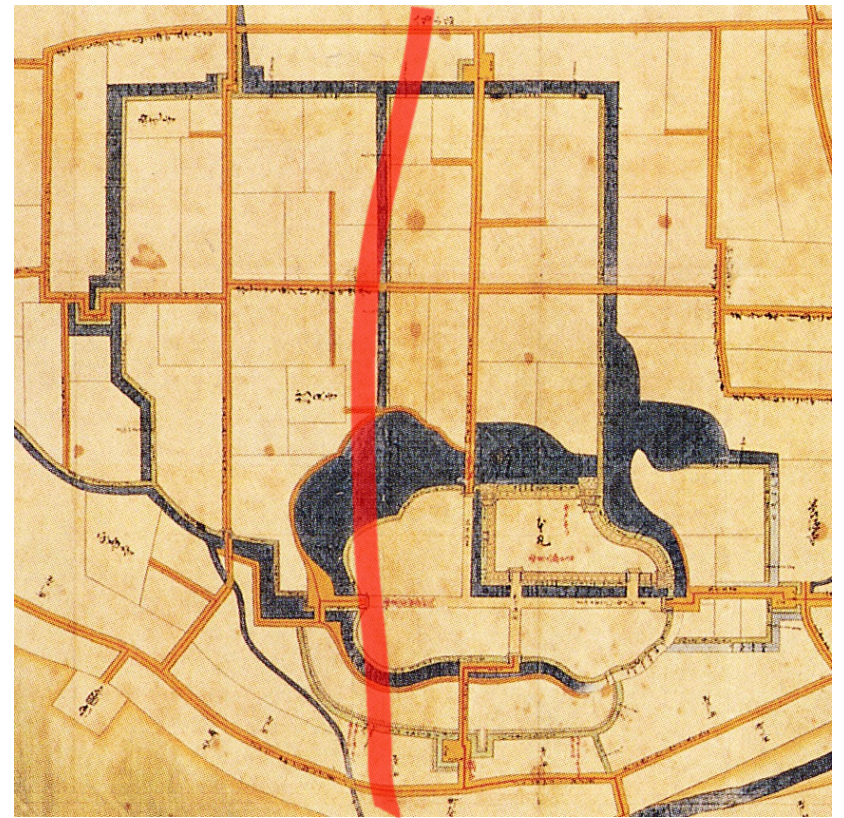
| 遺跡名   | (所在地)  | 調査年度      |
|-------|--------|-----------|
| 小田島城跡 | (東根市)  | 1997~2001 |
| 米沢城跡  | (米沢市)  | 1998      |
| 亀ヶ崎城跡 | (酒田市)  | 2004・2005 |
| 上の寺遺跡 | (寒河江市) | 2007・2008 |

- ・カミ・ホトケに関する遺物はどこから出土するか
- ・中世から近世にかけての動きは遺跡からどう見えるか

# 小田島城跡



小田島城の空中写真  
(1997年撮影)

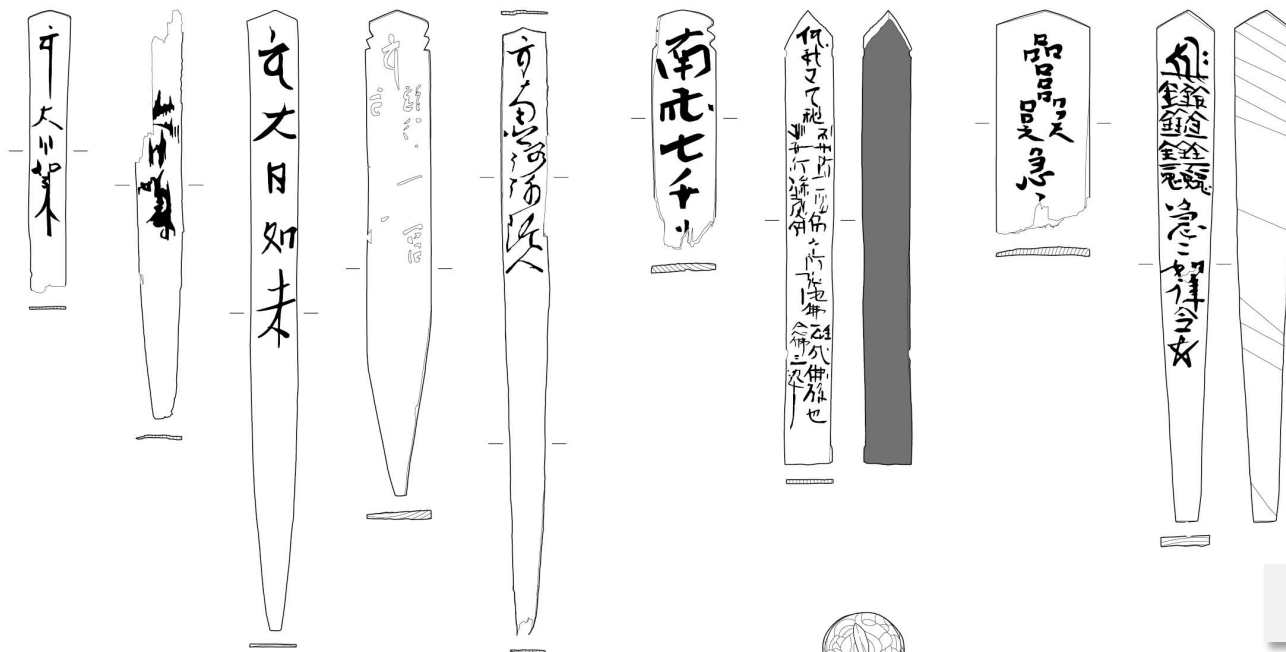


出羽国最上東根城絵図  
(1645年頃作成)

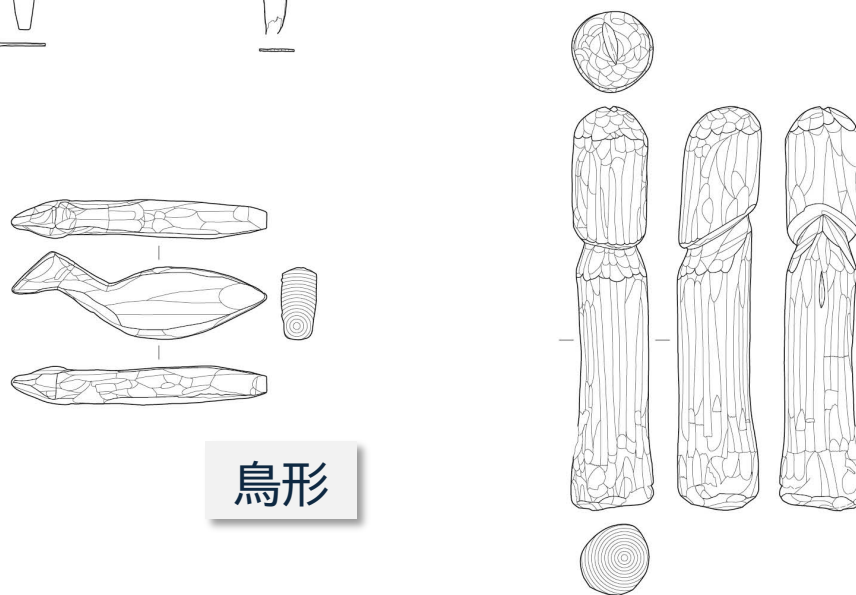
# 小田島城跡の歴史

- 正平2年（1347） 小田島長義によって築城か
- 応永2年（1395） 東根頼高が城主となる
- 天正12年（1584） 天童合戦後、里見景佐が城主となる
- 元和8年（1622） 里見氏が阿波国へ配流となる
- 寛文元年（1661） 廃城

# 小田島城跡出土遺物



呪符木簡



鳥形

陽物



龍興寺沼・三の丸地区



調査前の龍興寺沼



龍興寺沼地区・三の丸地区全景



普光寺の梵鐘  
正平11年(1356)銘  
小田島長義が寄進

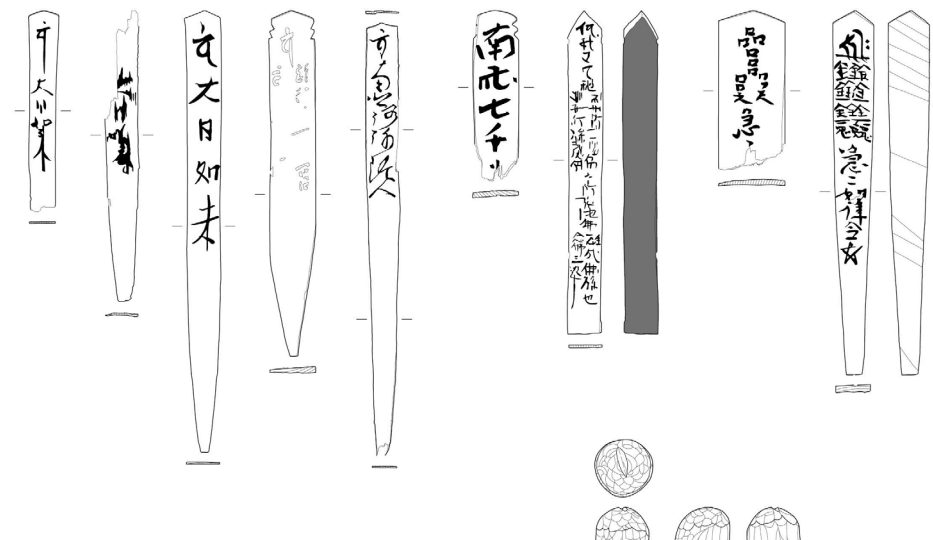




石敷遺構  
 上層:18世紀中葉  
 下層:17世紀初頭



現在の龍興寺沼





石組み井戸  
(上:15世紀・下:16世紀末)



転用された石塔



大和郡山城の石垣  
(<https://shirobito.jp/article/768>)



南二の丸堀地区



鳥形

越前甕

肥前陶磁器



獣骨(イヌ・ニワトリ・ネコ・ウシ・ウマ・シカ)

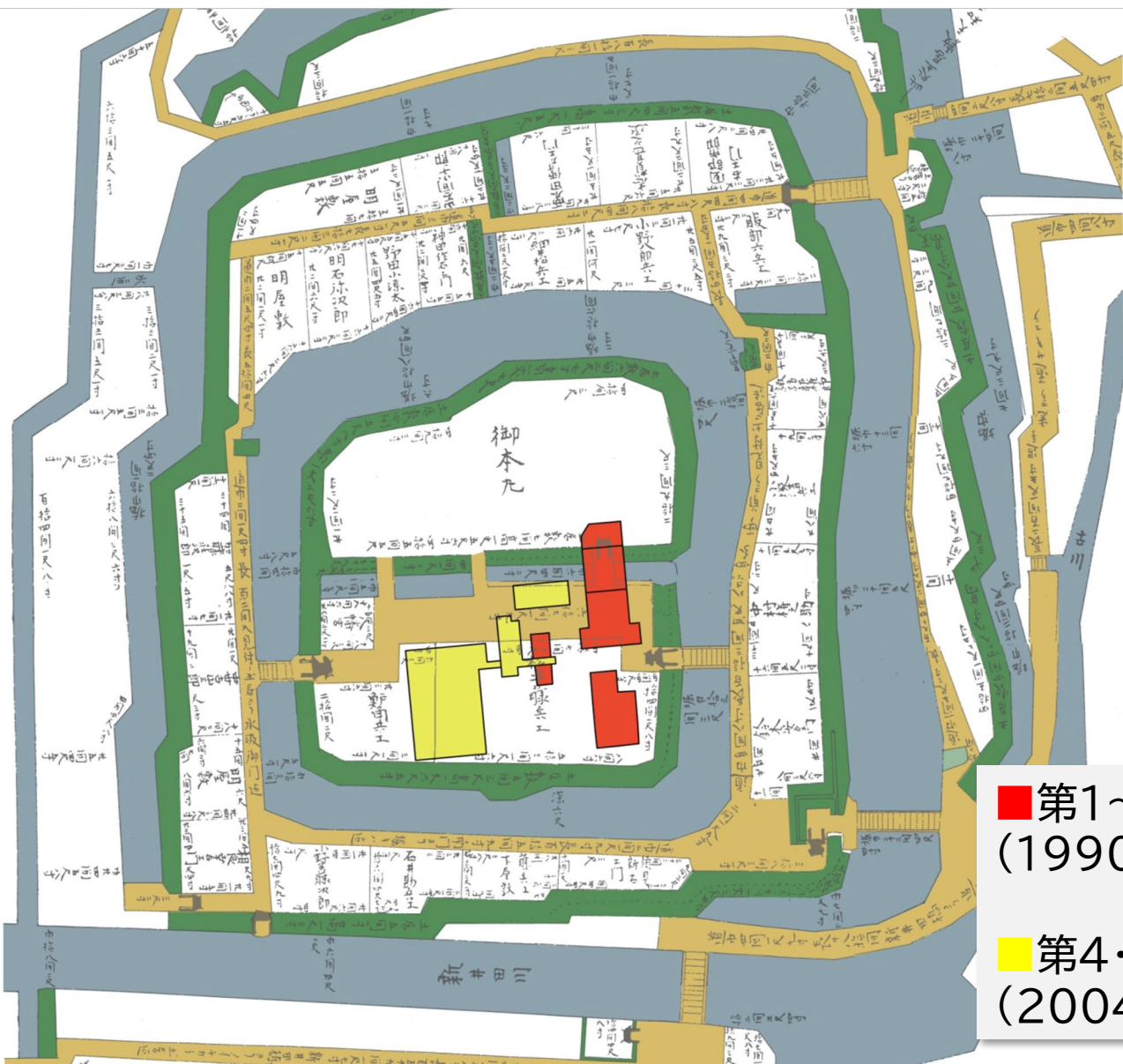
円板状石製品

小田島城跡では…

堀・沼から呪符木簡等、宗教的な遺物が出土

他の遺跡の事例は？

# 亀ヶ崎城跡



■ 第1～3次調査  
(1990・1993・1994年)

■ 第4・5次調査  
(2004・2005年)

# 亀ヶ崎城の歴史

- ・文明10年（1478） 遊佐太郎繁元が東禅寺城を築く。
- ・天正11年（1583） 前森蔵人が城主になる。
- ・文禄2年（1593） 甘粕景継が城主になる。
- ・慶長3年（1598） 志駄修理亮が城主となる。東禅寺城の整備。
- ・慶長4年（1599） 志駄修理亮が城郭を拡張。
- ・慶長6年（1601） 最上勢による東禅寺城攻撃。  
志村光安が城主となる。
- ・慶長8年（1603） 亀ヶ崎城と改名。城下の町割り、整備。
- ・元和8年（1622） 最上氏改易。酒井氏入部。



戌の日の安産祈願のお守り説

大坂からのお土産？

大坂城跡出土の犬形土製品

犬形土製品  
(16世紀末頃)





亀ヶ崎城跡出土  
鉄釉皿

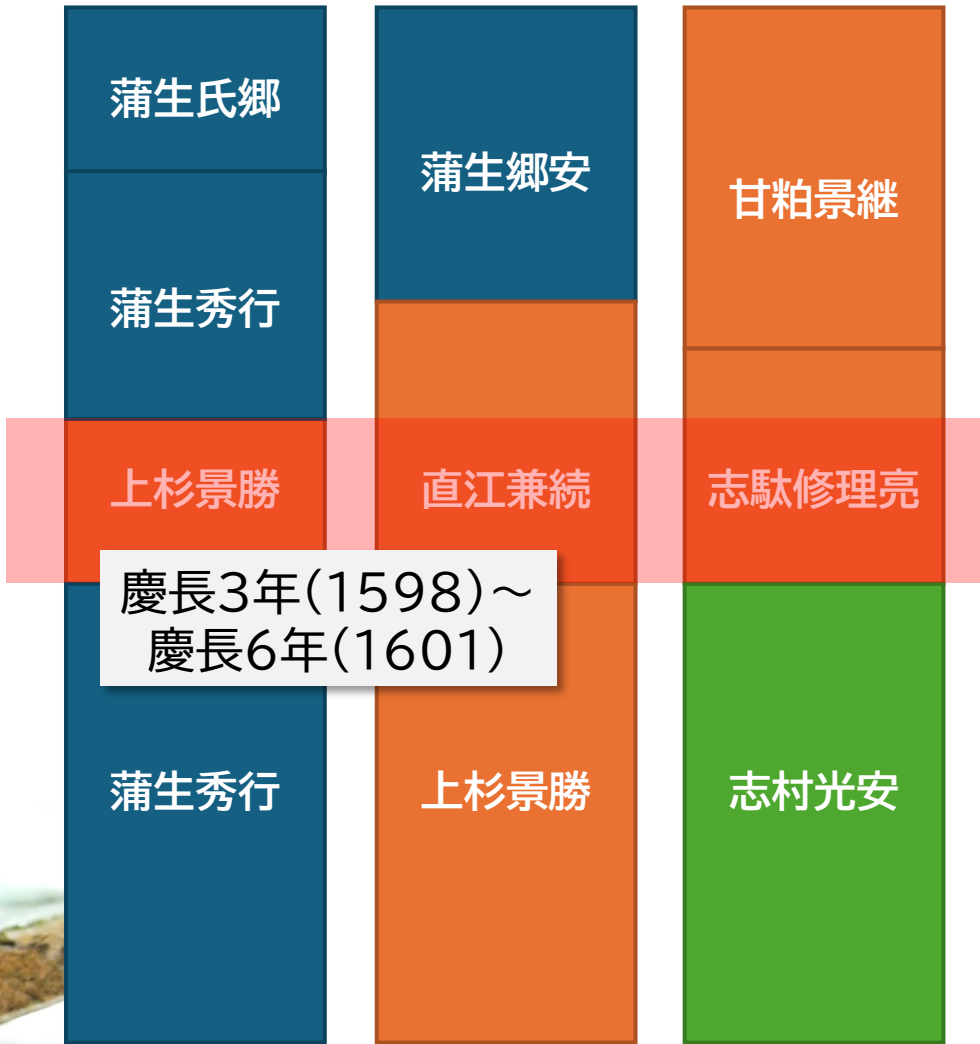


上吉田B遺跡(会津若松市)出土

会津

米沢

酒田



慶長3年(1598)~  
慶長6年(1601)

会津大塚山窯  
製品



個人の携行品としてのモノの動き



第1面

第2面

第3面

整地層と遺物包含層



礎石建物



遺物出土状況



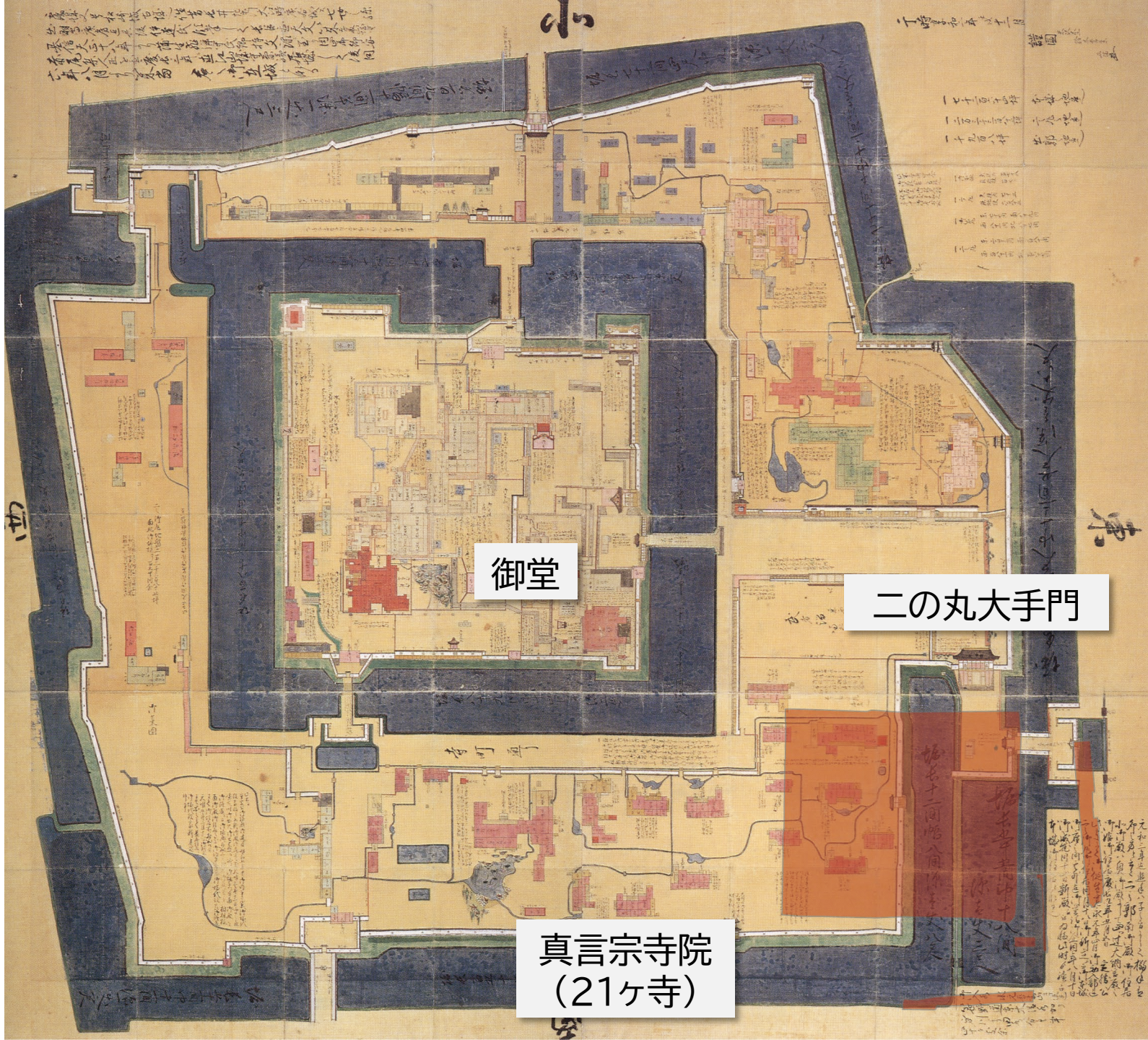
本丸堀(17世紀以降)

宗教的な遺物が少ない→支城だったため？

他の近世の城では？

# 米沢城跡

松岬城堞図 享和二年(一八〇二)  
米沢市上杉立博物館所蔵



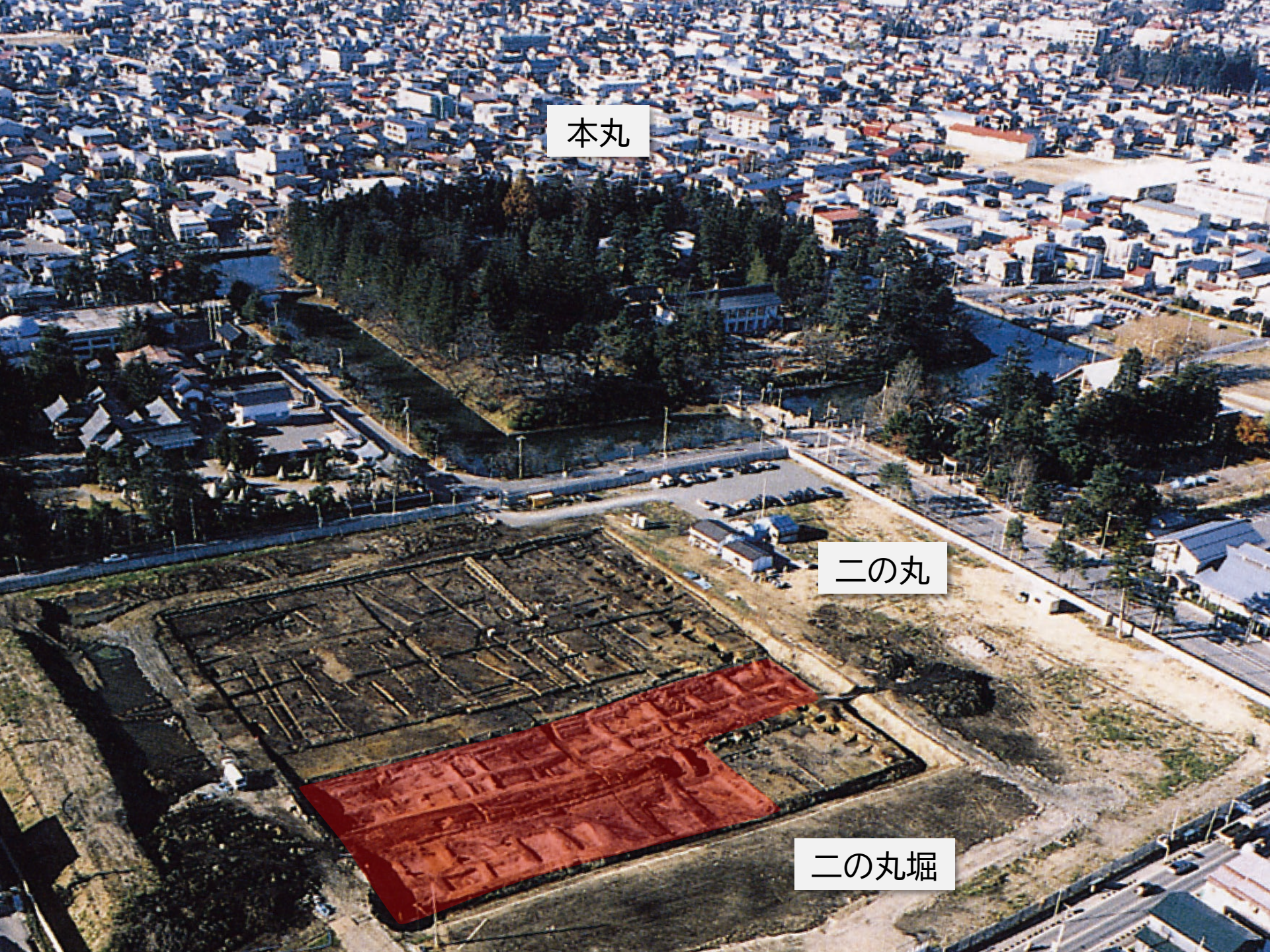
御堂

二の丸大手門

真言宗寺院  
(21ヶ寺)

# 米沢城の歴史

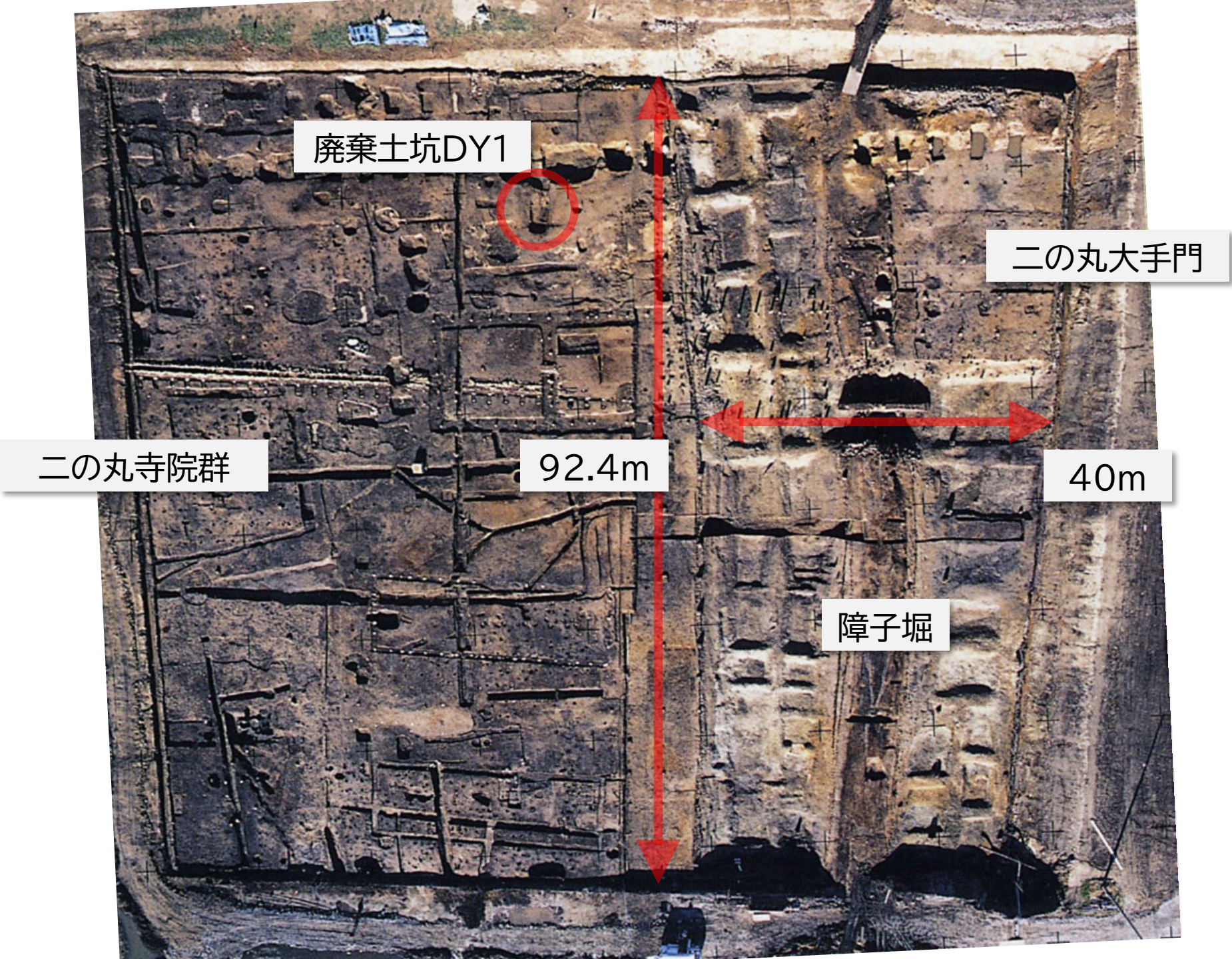
- 天文17年（1548） 伊達晴宗が米沢城を本城とする。
- 天正19年（1591） 伊達政宗、岩出山へ移封。
- 天正19年（1591） 蒲生郷安が米沢城に入る。
- 慶長3年（1598） 直江兼続が米沢城主となる。
- 慶長6年（1601） 30万石に減封。景勝入部。
- 慶長9年（1604） 城内の門・堀・櫓等の整備を開始。
- 慶長13年（1608） 東南二方の堀完成。
- 慶長14年（1609） 二の丸寺院建立。
- 明治3年（1870） 堀、土塁、二の丸寺院破却。

An aerial photograph of a historical site, likely a Japanese castle or fortification. The site is surrounded by a dense urban area. A large, rectangular area in the foreground is highlighted in red, indicating a specific feature. The site is divided into several sections by low walls and ditches. A large, dark, wooded area is visible in the middle ground, and a river or stream flows through the site. The overall scene is a mix of natural and man-made elements.

本丸

二の丸

二の丸堀



廃棄土坑DY1

二の丸大手門

二の丸寺院群

92.4m

40m

障子堀

廃棄土坑DY1



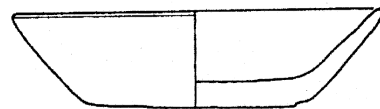
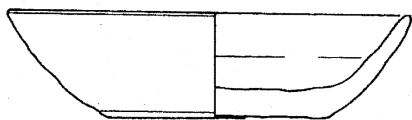
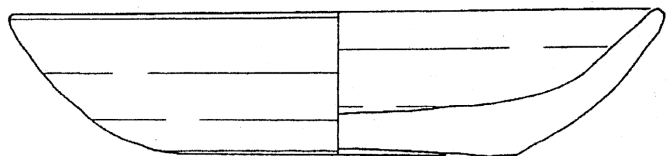
上層(明治3年)

中層(18世紀後半~19世紀前半)

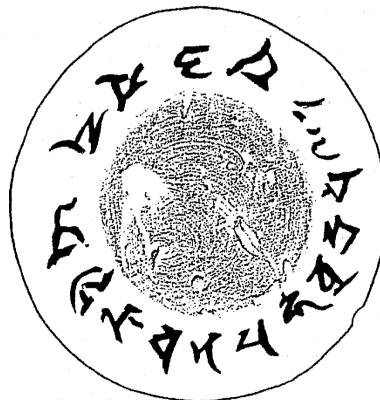
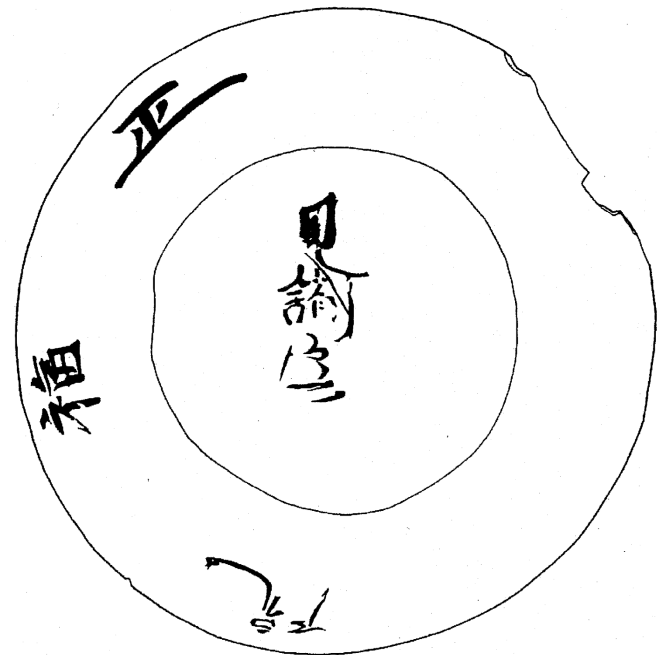
下層(17世紀前半~18世紀前半)

最下層(17世紀初頭)





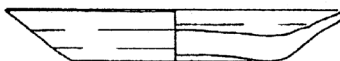
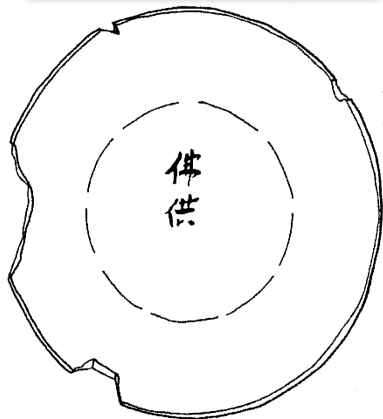
おん あほきやへい らしゃの  
 正 光 院 印  
 ま かほだりま ほん  
 正 光 院 印  
 じほらほりたやうん  
 正 光 院 印



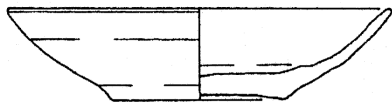
光明真言(正位)

光明真言(逆位)

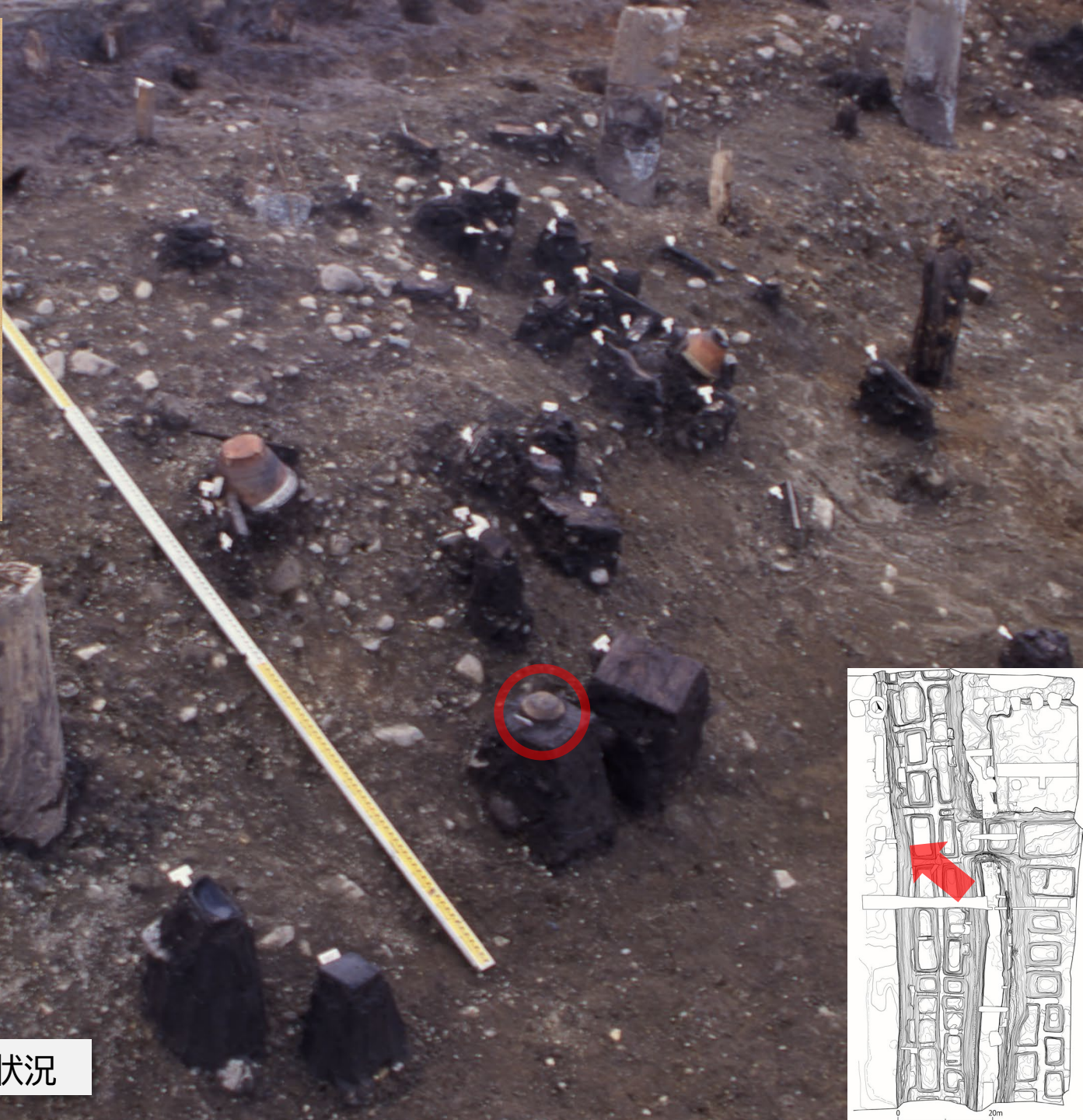
「正福院」・「見諭口」



「伍百八拾斗 寛永」



「佛供」



光明真言かわらけ出土状況



脇差出土状況

堀に宗教用具を廃棄(日用品も…)

大手門付近から脇差が出土

# 上の寺遺跡



# 慈恩寺・上の寺遺跡の歴史

- 天平18年 (746) 聖武帝の勅願によって婆羅門僧正が開基。
- 天仁元年 (1108) 鳥羽帝の勅宣により再興。釈迦堂、阿弥陀堂、常行堂を新造立。
- 仁平元年 (1151) 鳥羽院院宣により再興。
- 仁平3年 (1153) 願西上人が本願となって再興。
- 保元元年 (1156) 高野山の弘俊が堂塔を修復。
- 鎌倉時代中期 上の寺に薬師寺建立。薬師三尊と十二神将が安置される。
- 正応3年 (1290) 良源律師が上の寺に求聞持堂を造立。
- 永仁4年 (1296) 本堂諸堂宇、本尊など消失。
- 徳治元年 (1306) 慈恩寺本堂再建。
- 延慶3年 (1310) 薬師寺再興。
- 正平11年 (1356) 慈恩寺火災。本堂、釈迦堂は焼け残る。
- 永正元年 (1504) 兵火で一山焼失。
- 天正18年 (1590) 聞持院に住まいしていた溝延長老が最上義光に嫌疑をかけられ自害。聞持院没落か。
- 慶長13年 (1608) 三重塔竣工。
- 元和4年 (1618) 本堂再建。
- 寛永13年 (1636) 薬師堂建立。



史跡慈恩寺旧境内

上の寺遺跡

Image © 2007 DigitalGlobe

© 2007 Google™







板碑



層塔



層塔(相輪)



五輪塔



宝篋印塔





溝延長老墓

伝聞持院跡

土塁



現在の薬師堂

伝聞持院跡

調査区

土塁

斜面

溝





溝から石塔が出土した様子



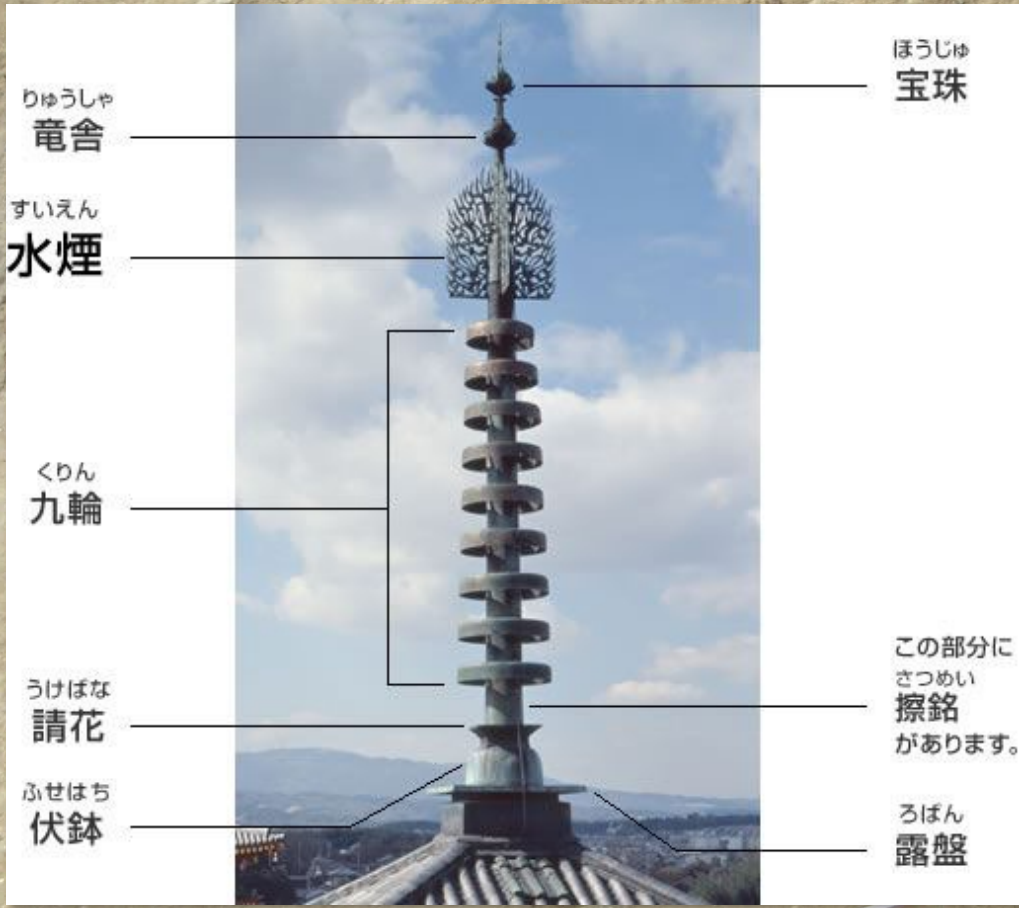
板碑

宝篋印塔

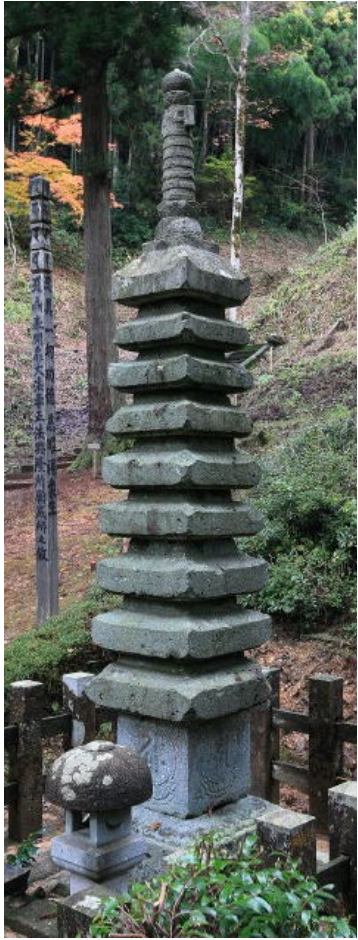
層塔



斜面から石塔が出土した様子



層塔(相輪部)



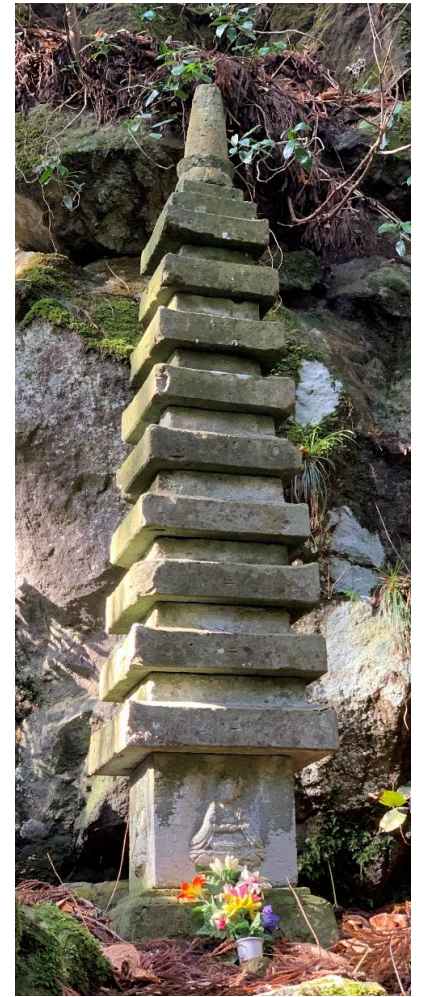
越前町大谷寺  
元亨3年(1323)



上の寺遺跡



谷地城跡  
16世紀後半



遊佐町永泉寺  
慶長16年(1611)

15世紀頃？

溝延長老墓



16世紀後半



15世紀

16世紀末頃まで石塔が造営されたか



伝聞持院跡

土塁

土塁

土塁

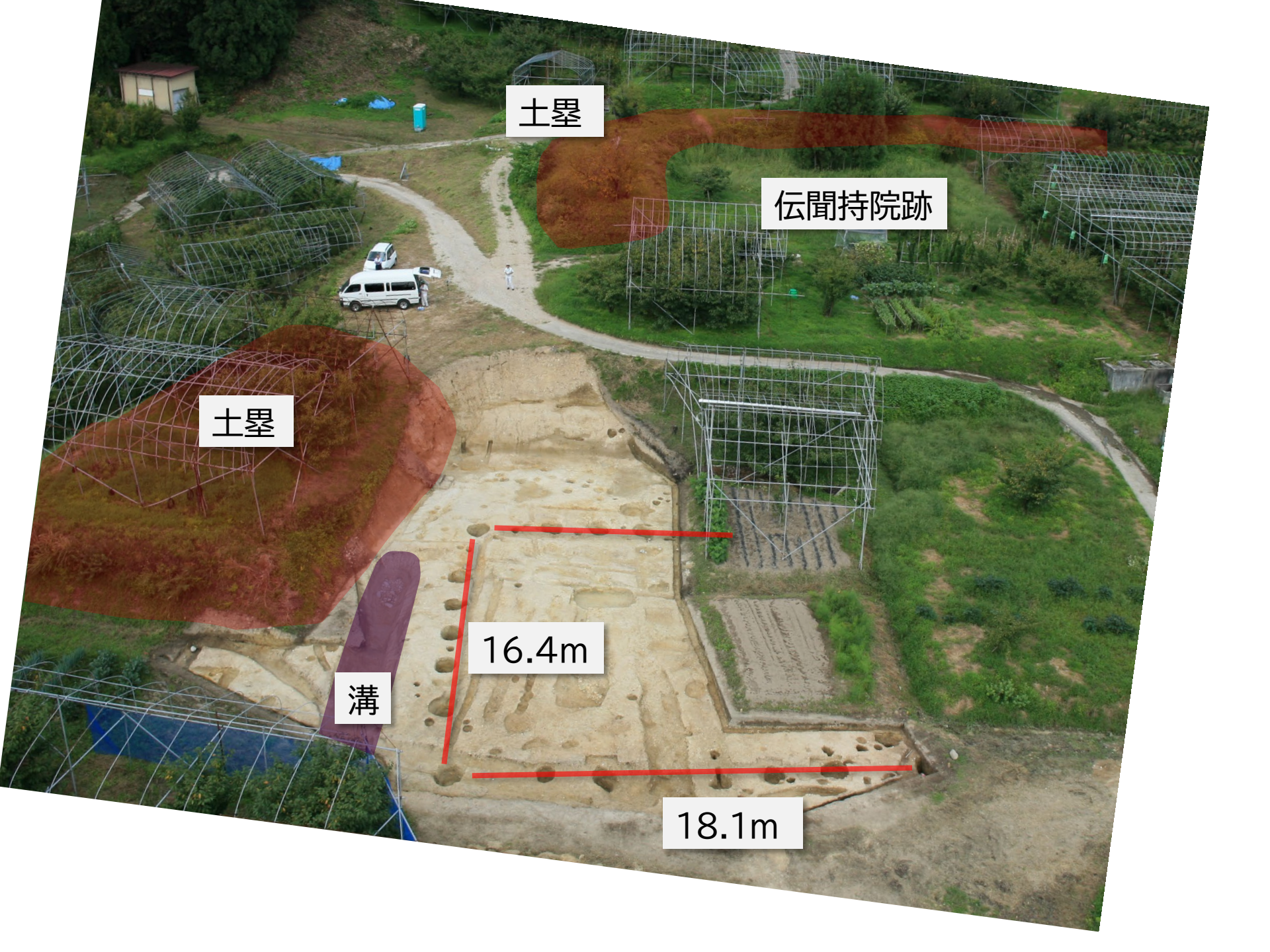
伝聞持院跡

土塁

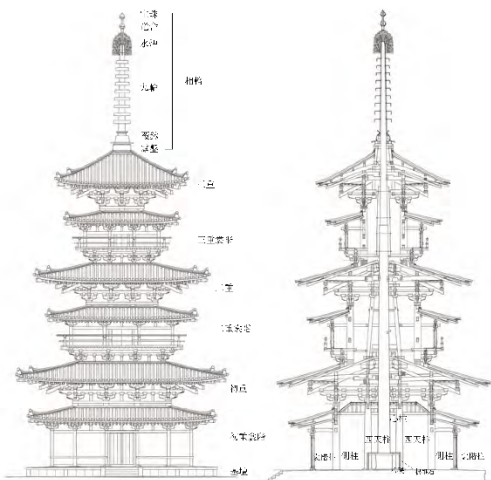
溝

16.4m

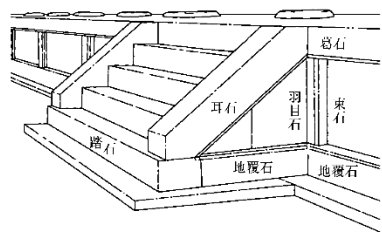
18.1m



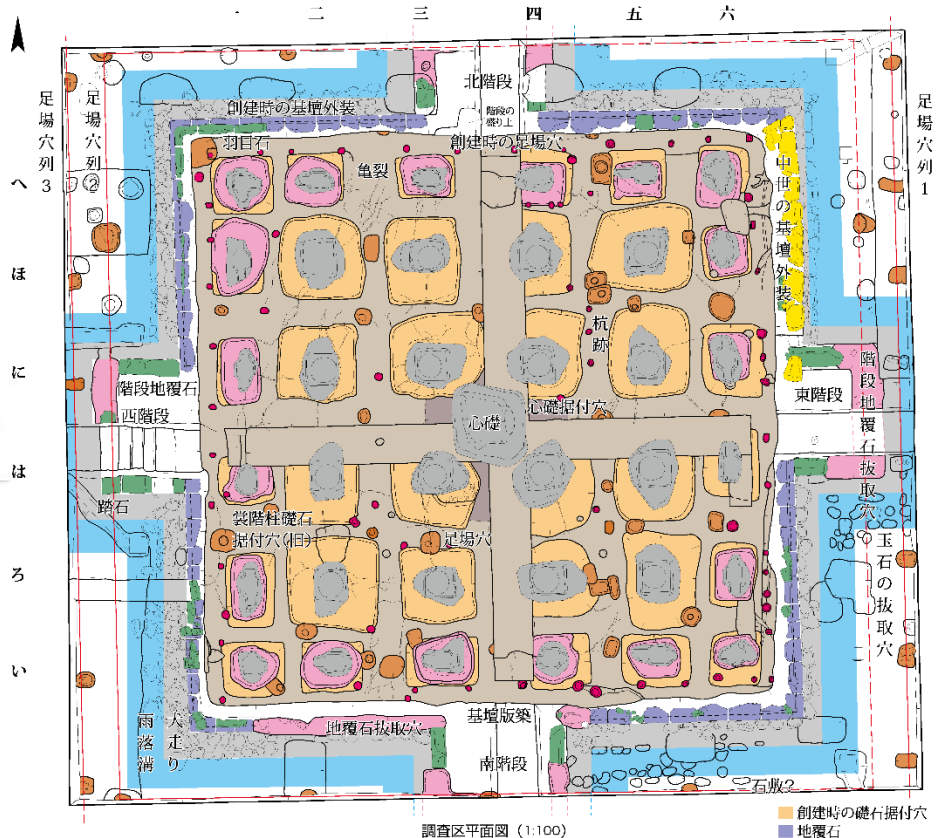




東塔の各部名称

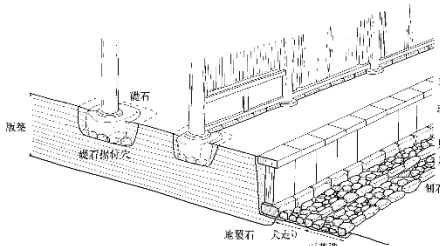


階段の模式図



調査区平面図 (1:100)

- 創建時の礎石据付穴
- 地覆石
- 裳階柱礎石据付穴(新)

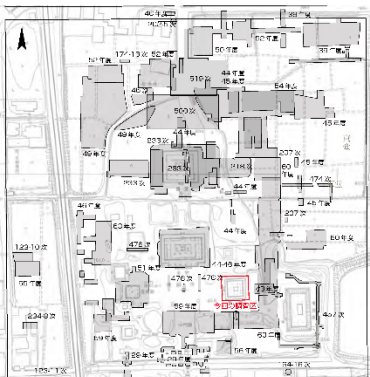


基壇および基壇周辺の模式図



発掘前の基壇外装と敷石を取り外す前の基壇俯瞰 (上が北)

薬師寺におけるこれまでの調査と今回の調査区的位置 (1:3000)



基壇西北隅付近の創建時基壇外装と版築 (北西から)



創建時の玉石敷大走りと雨落溝 (基壇西北付近 下が北)



中世の基壇外装 (基壇東辺北半 南から)



創建時の基壇俯瞰 (上が北)







伝聞持院跡

土塁

塔?

土塁



石塔の廃棄



中国産青花(16世紀中葉)

塔?に並行する溝

16世紀末頃に埋没か



慈恩寺本堂に近い調査区

石組み井戸



志野(17世紀初頭)

近世初頭に作られた井戸



石敷き道路

近世初頭に作られた道路

肥前陶器(16世紀末)





元和4年(1618)本堂再建



慶長13年(1608)三重塔建立

中世末から近世初頭に  
本堂周辺の整備

# まとめ

小田島城跡 →堀・沼から呪符木簡が出土

亀ヶ崎城跡 →宗教的な遺物の不在

米沢城跡 →堀から墨書かわらけ・脇差出土

宗教的な道具は堀に廃棄する意識

近世にも継続

小田島城跡 →井戸に転用された石塔

上の寺遺跡 →塔の造営と廃絶

→石塔の廃棄と本堂周辺の整備

中世末～近世初頭の画期

亀ヶ崎城跡 →犬形土製品・会津大塚窯製品の出土

商品流通ではない個人の携行品としてのモノの動き